

## PA500 II、PA690 WM6.5 IE Zoom バー無効手順

Windows Mobile6.5 の IE (Internet Explore) は Zoom バーが出力されます。Zoom バーはデフォルトで Web ページの遷移の都度、縮小した状態に設定されます。

Web ページの拡大・縮小作業を回避するために、レジストリ変更が可能なフリーソフト『TRE』を利用し、Zoom バーを無効とする手順を説明します。



### ●動作確認済みモデルについて

本設定手順は以下のモデルで動作を確認済みです。

- ・ PA500 II、PA690

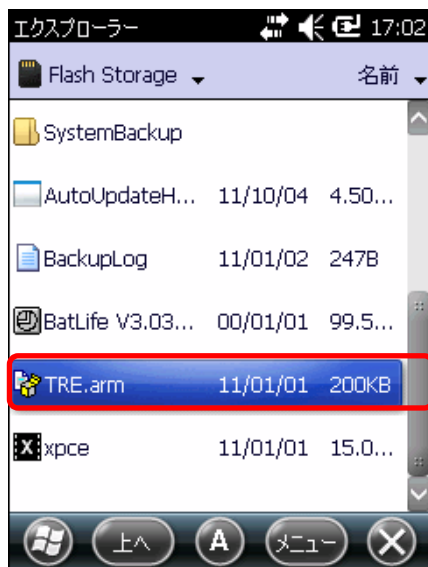
### 1. TRE のダウンロード

1.1. 以下の URL より『TRE.arm』をダウンロードします。

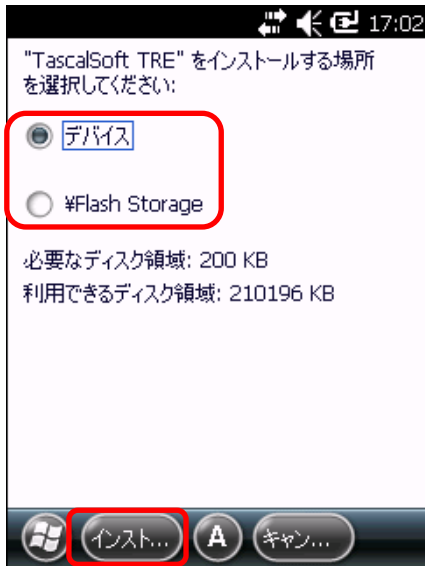
<http://unitech-japan.co.jp/public/download/TRE.arm.CAB>

### 2. TRE のインストール

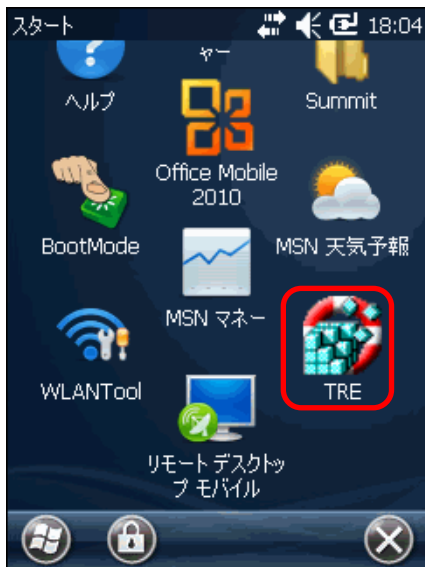
2.1. 『TRE.arm』を Flash Storage 配下に配置しダブルタップします



2.2. 「デバイス」又は「Flash Storage」を選択し「インストール」をタップします



2.3. インストールが完了すると「スタート」→TRE アイコンより TRE を起動します



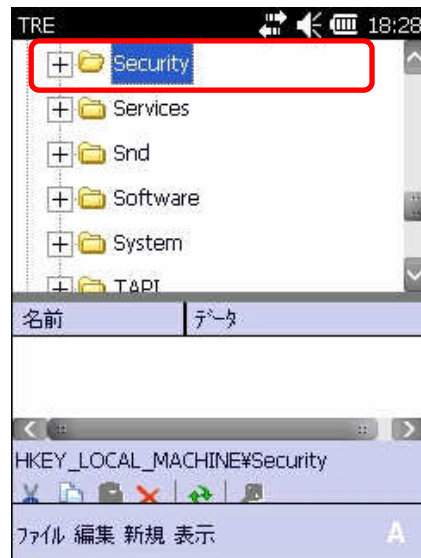
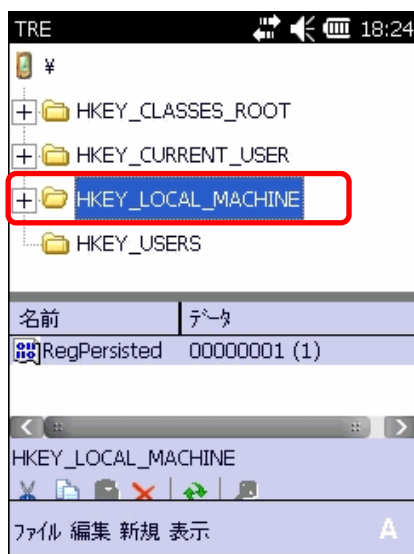
### 3. IEZoom バーを無効にするレジストリ設定値変更

3.1. TRE を使用し、以下のレジストリ上の設定値を変更します。

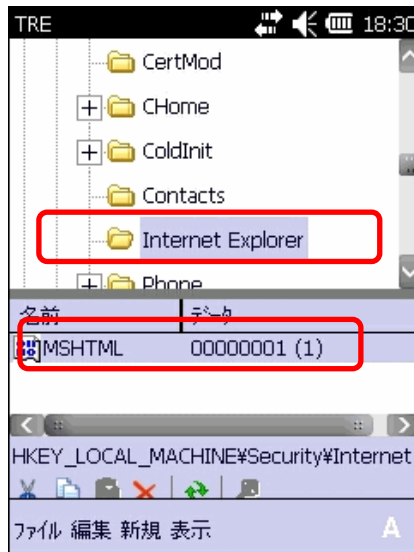
#### レジストリにする設定項目

	設定値	設定箇所
1	MSHTML の DWORD 値を 1 → 0 に変更	¥¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥Security¥Internet Explorer

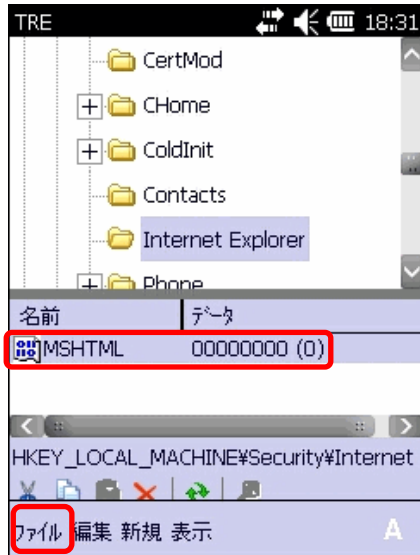
3.2. HKEY\_LOCAL\_MACHINE → Security → Internet Explorer の順に選択します。



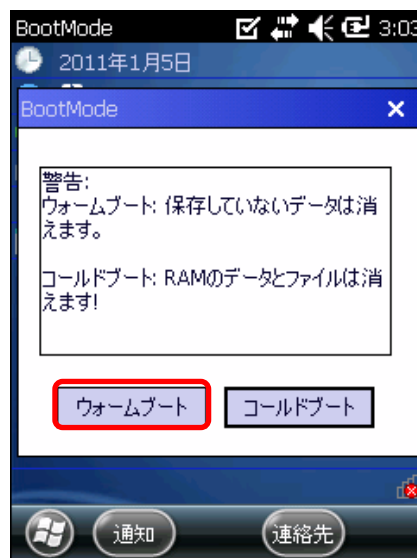
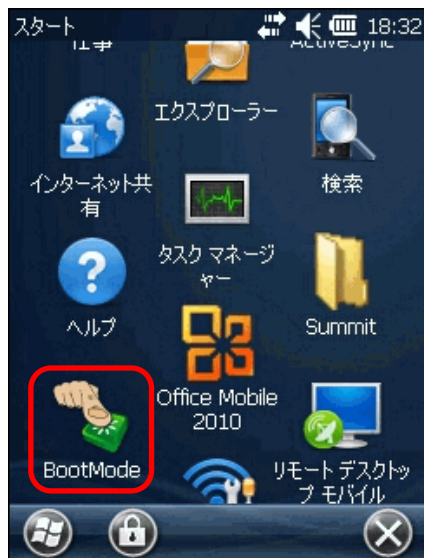
「MSHTML」をタップし、「値のデータ」を1→0に変更し「OK」をタップします。



3.3. 「MSHTML」の値が0に変更されたことを確認し、「ファイル」→「終了」よりTREを閉じます。



3.4. レジストリ設定値を反映するため[Start]→[BootMode]よりウォームブート（OS再起動）を行います。



3.5.IE を起動し、Zoom バーが無効になっていることを確認します。



#### 4. 変更後設定保存手順

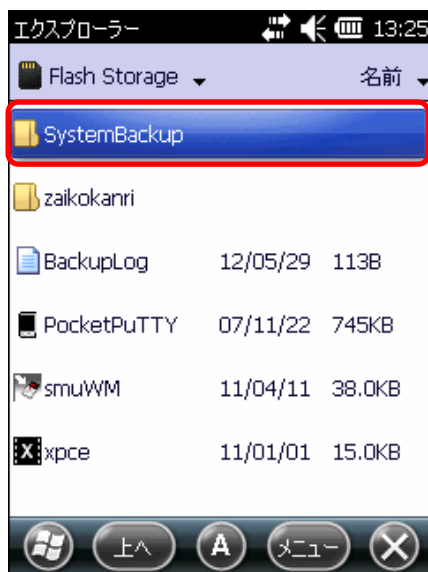
変更したレジストリ値はコールドブートやバックアップバッテリー切れの後にデフォルト値に戻ります。Unitech 製 PDA、ハンディターミナルは事前に設定値のバックアップを取得することで、レジストリ設定値を簡単に復元することができます。

4.1. 「スタート」→「設定」→「システム」→「Device Setting」の順にタップします。

「バックアップ」タブを選択し「保存」をタップしバックアップを取得します。

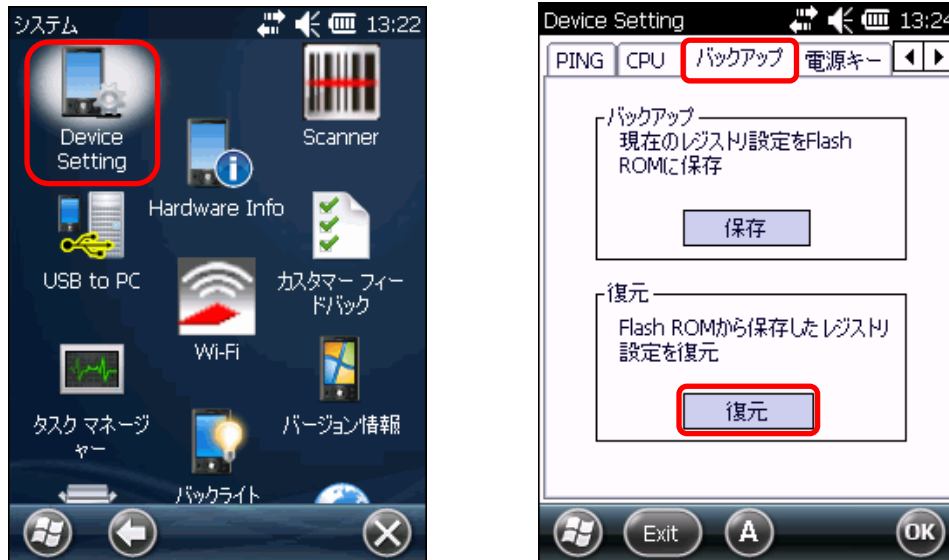


4.2. 「スタート」→「エクスプローラ」→「Flash Storage」より、SystemBackup フォルダが作成されたことが確認できます。



## 5. 保存設定復旧手順

- 5.1. 「スタート」→「設定」→「システム」→「Device Setting」の順にタップします。  
「バックアップ」タブを選択し「復元」をタップしバックアップ済みの設定にて復元します。  
復元完了後、自動的に再起動を開始します。



上記手順のほか Unitech 製 PDA、ハンディターミナルは、自動リストア設定ツール『auto installar』を使用することで、コールドブート後に自動的にリストアを行うことも可能です。